

ピツニーボウズジャパンがキヤノンマーケティングジャパンと提携 －郵便料金計器がより手に入り易い環境づくりのために－

ピツニーボウズジャパン株式会社(社長:三橋正卓、以下ピツニーボウズジャパン)は、キヤノンマーケティングジャパン株式会社(社長:川崎正己、以下キヤノン MJ)と業務提携を行い、7月中旬よりピツニーボウズ社製の、中規模・小規模企業向け郵便料金計器「DM100」をキヤノン MJ の完全子会社であるキヤノンシステムアンドサポート株式会社(社長:土門敬二、以下キヤノン S&S)を通じて、販売します。

1.経緯

ピツニーボウズジャパンは、大規模企業を多く顧客に持ち、大規模企業の顧客へ郵便料金計器の最上位機種ならびに封入封緘機などのソリューションを提供しています。またピツニーボウズジャパンは、大規模企業のみならず中規模・小規模企業でも当社の郵便料金計器が役立つものと考えております。従前は当社独自の営業活動を強化して参りましたが、このたび、中規模・小規模企業への強い販売力を持つキヤノン MJ と業務提携することで、スピーディーに拡販を展開して参ることにいたしました。

2. キヤノン MJ の販売チャネルについて

ピツニーボウズジャパンは、キヤノン MJ との業務提携に伴い、DM100 の販売においては、キヤノン S&S と販売代理店契約を締結しました。現在、キヤノン S&S にてテストマーケティングを実施しており、7月中旬より郵便発送業務の需要が見込まれる中規模・小規模企業の総務・経理部門を主な対象に販売を開始します。

3. 今後の展開

ピツニーボウズジャパンは、キヤノン MJ と封入封緘機、折り機、ソフトウェアなど、ピツニーボウズの郵便業務改善ソリューションの提携へ展開を広げ、デジタル印刷および郵便発送業務改善商品の拡販を目指します。

【各社コメント】

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

代表取締役社長 川崎正己氏

「キヤノンにとって、郵便関連ビジネスに強いピツニーボウズ社とのパートナーシップは喜ばしいことです。第一弾として、小型タイプの郵便料金計器を7月中旬より販売し、郵便発送業務の需要が見込まれる中規模・小規模企業の総務・経理部門へのアプローチを開始します。我々にとっての新規市場である郵便料金計器市場に参入することで、郵政民営化で市場の拡大が期待される郵便関連事業を展開していきたいと考えています。

また、今後は、デジタル商業印刷分野において、キヤノンのデジタル商業印刷機 imagePRESS (イメージプレス)とピツニーボウズ社の商品を組み合わせたデジタル印刷システムを、DM や請求書、トランスプロモ (広告付きの請求書)などの印刷ビジネス向けに拡販していけると期待しています。」

ピツニーボウズ アジアパシフィック・ミドルイースト本社

代表取締役社長 エリック・マヘ

「私どもにとって、日本はアジア・中東地区における重要な市場となっております。このような市場において、キヤノンマーケティングジャパンに、弊社の主要なディストリビューター様になっていただきましたことについて、心強く感じております。私どもとしても、このパートナーシップを活かし、更に市場開拓を進め、私どもの郵便料金計器の利便性向上につなげて参りたいと考えております。また、キヤノンマーケティングジャパンとのこのような戦略的な関係が結べたことは、各地域のチャネル戦略においても画期的なことと考えております。ピツニーボウズ アジアパシフィック・ミドルイースト本社は、ベストな郵便発送技術とソリューションを、私どものお客様と各市場にご提供することに最善を尽くしており、キヤノンマーケティングジャパンのような会社様とパートナーシップが組めたことは、私どものお客様の利便性を着実に向上させることと期待しております。」